

この人に聞きたい

第1回

鈴木 文雄
(岩手県立図書館長)

図書館に関わる人にその思いを聞く、新コーナー第 1 回目は、岩手県立図書館長の鈴木文雄です。読書をこよなく愛する姿や、ちょっとした本の選び方など、インタビュー形式でお送りします。

——1 年に 120 冊の本を読み進めるのが目標とのことですが(「館長のつぶやき」第 7 回参照)、今年の達成状況は？

正確に数えていないが、120 冊は超えている。10 年ほど前に、1 年間にどれぐらい読んでいるのか気になってノートにメモしてみたら、あまりの少なさに愕然としてしまった。確か 70 冊ぐらいだったと思う。それ以来、月に 10 冊程度ということで、年間 120 冊を目標に設定するようになった。読書の意欲をかきたてるという意味で、私にとっては読書ノートは貴重だった。A6 の本当に小さいノートに、作者名、書名、読み終わった日付を書くだけの簡単なものだが。

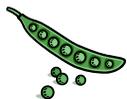
——読みたい本はどのように決めていますか？

同僚や友人との話の中で出てきた本はできるだけ読むようにしている。薦められたからすぐに読むというわけではなく、どちらかというと、時間を置くことが多い。10 年ぐらい経ってから読んだ本もある。本の話をしていると、自分の勉強不足を痛感させられて、刺激になる。単行本はだいたい図書館から借りる。書評を参考にして借りることが多い。文庫本や新書本は、週に 1 回本屋に行くのでその時におもしろそうなものを買ってくる。古典は漢文にしろ古文にしろ 1 年に 1 冊読めれば上出来だと思っている。

——月 1 回配信の図書館メールマガジンにて連載中(「一般向け」のみ)の「館長のつぶやき」が 30 回を越えましたが、感想は？

軽い気持ちで始めたが、よく続いたと思う。冷や汗ものである。内容は身近なところに題材をとっており、引用も多いので、その作品や作者に少しでも興味を持ってもらえたらうれしいですね。

文中に登場した「館長のつぶやき」は、図書館の無料メールマガジン(「一般向け」のみ)にて引き続き連載中です。素敵な詩や文章が多く紹介されていますので是非ご一読を。メールマガジンの登録、バックナンバーの閲覧はどちらも当館ホームページをご覧ください。



豆情報

岩手県立図書館ホームページ (<http://www.library.pref.iwate.jp/>)

「トップページ」⇒「ご利用申請」⇒「メールマガジンの登録・解除」または「メールマガジン・バックナンバー」をクリック！